

2022年度

せんだいメディアテーク年報
sendai mediatheque annual report

+

+

はじめに

2022年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、いくつかの事業が中止や延期を余儀なくされました。また、以前より計画されていた照明設備等の改修工事に伴う休館期間などもありましたが、少しずつ、人の往来や交流が復調し元通りの事業実施の足がかりを得た1年と言えるでしょう。

展覧会事業においては「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」という参加可能なアート作品を中心に据えた企画を実施、アーティストユニットのドットアーキテクトとコンタクトゴンゾによって、年齢や障害の有無などわけ隔てのない場が作られオープンスクエアの新たな事業モデルを提案することになりました。

また、3年ぶりに館長を軸としたトークイベントにも多くの観客が集いました。市が活性化に力を入れている定禅寺通では、イベントに合わせた公開空地の利活用に近隣の店舗とともに積極的に取り組むことができました。

さらに市民協働においても「どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—」、「てつがくカフェ」、「みやぎシネマクラドル」、「結婚の定義」など活発な活動がみられ、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」では、2階の常設展示「わすれん!資料室」をリニューアル、そして「第18回市民メディア全国交流集会 メディフェス せんだい2023～伝わらない、伝える、伝わる。」を共催で行いました。また、今年早逝した現代日本映画の旗手であった青山真治監督の特集上映をフォーラム仙台と同時開催で行い、地域資料の収集としては、写真家のコレクティブによる約1万点の写真アーカイブである「仙台コレクション」をデジタルデータで保存しました。映像音響ライブラリーでは、障害者向けサービスなどをわかりやすく伝えるための環境を整えました。

一方、7年目となる「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」も更に充実し、「川俣正／仙台インプログレス」や「ワケあり雑がみ部」、「NISHINARI YOSHIO 写真展 最後のファッション」等を展開し、沿岸部の復興、ごみの減量、共生社会、市街地活性化などの社会課題にアートの視点を活かした取り組みを行いました。

その他、開館20周年を記念してメディアテークの関係者50人による50のキーワードの解説(コンセプト)をまとめた『つくる〈公共〉50のコンセプト』(発行:岩波書店)を発刊。開館以来、学び、表現し、対話するという実践を介して紡ぎだされたこれらの言葉は、仙台のみならず、いままさに活動しているひとたちを、傍らで支えるものになったのではないかと思います。せんだいメディアテークは、活動を続けるみなさんとより良い場所づくりにこれからも全力で取り組んでまいります。

2023年7月

1	文化・芸術への取り組み	
1-1	展覧会 contact Gonzo×dot architects 定禅寺パターゴルフ??? 倶楽部!!～協働と狂騒のダブルボギー (2打オーバー)	06
1-2	せんだい・アート・ノード・プロジェクト	08
	1 川俣正／仙台インプロGRESS	
	2 藤浩志／ワケあり雑がみ部	
	3 ARCADE	
	4 JOURNAL	
	5 MEETING	
1-3	館長発信事業 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 3じかんめ「公平」	14
1-4	ラジオ下神白一あのとときあのまちの音楽からいまここへー 記録映像と音源、トーク	15
1-5	青山真治監督特集 in 仙台 2023	16
1-6	せんだいデザインリーグ 2023 卒業設計日本一決定戦	17
1-7	ショートピース!仙台短篇映画祭 2022	19
2	協働と支援	
2-1	メディア・スタディーズ	21
	1 どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイー	
	2 民話 声の図書室	
	3 みやぎシネマクラドル	
	4 てつがくカフェ	
	5 知る 続く 在来作物プロジェクト	
	6 結婚の定義	
	7-17 そのほかのプロジェクト	
2-2	バリアフリー・デザイン	32
	1 手ではなすおはなしの会	
	2 ミニ 手ではなすおはなしの会	
	3 定禅寺パターゴルフ???倶楽部!! 関連企画	
	4 スウブノアカデミア 2022	
	5 共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック ちがう、かかわる、かわる～障害のある人とない人がともに	
	6 としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示	
3	コミュニティ・アーカイブ	
3-1	3がつ11にちをわすれないためにセンター	37
	1 星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—	
	2 常設展示「わすれん!資料室」	
	3 外部機関への主な協力出展等	
3-2	コミュニティ・アーカイブ・ラボラトリー	40
3-3	地域資料の収集	41

4	さまざまな連携	
4-1	第18回市民メディア全国交流集会 メディフェスせんだい2023 ～伝わらない、伝える、伝わる。～	43
4-2	仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)	44
4-3	定禅寺通イベント共催事業等	45
	1 とっておきの音楽祭2022	
	2 仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)	
4-4	仙台市民図書館との取り組み	47
	1 仙台市民図書館開館60周年記念講演 若竹千佐子氏講演会 ～今、届けたい言葉～	
	2 としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示(再掲)	
4-5	学校との取り組み	48
5	開館20周年の取り組み	
5-1	開館20周年記念出版『つくる〈公共〉50のコンセプト』	50
5-2	せんだいメディアテーク クロノロジー 2001-2021	51
6	ライブラリー・サービス	
6-1	映像音響ライブラリー	53
6-2	視聴覚障害者情報ライブラリー (バリアフリー・ライブラリー)	53
6-3	インターネットを通じた資料提供	54
7	本・DVD等の発行物	
7-1	書籍や報告書等の印刷物	56
7-2	DVDメディア等の映像音響資料	56
7-3	紙やインターネットを通じた定期発行等	58
7-4	その他常備している印刷物	58
8	イベント一覧(時系列)	60
9	施設運営	
9-1	施設概要	64
9-2	沿革	64
9-3	収支	65
9-4	施設使用実績	65
9-5	その他	65
9-6	仙台市メディアテーク条例	66

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+



1-1

展覧会

contact Gonzo×dot architects

定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!

～協働と狂騒のダブルボギー

(2打オーバー)

遊びを通してモノやコトを生みだし、多様な人々が交流する場づくりをテーマとした展覧会。身体表現によってコミュニケーションを探求するコンタクトゴンゾと、協働性にフォーカスした建築家ユニット、ドットアーキテクトが、ユニークなパターゴルフ場を作りました。

会期：2023年1月11日-2月5日 10:30-19:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：7,524名

入場料等：高校生以下無料、一般300円(大学生・専門学校生含む)、仙台市内在住の65歳以上の方や障害者手帳等をお持ちの方と介添1名まで半額

協力：認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク、障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称：SOUP/NPO法人エイブル・アート・ジャパン)、障害者地域活動推進センターきりん(NPO法人アイサポート仙台)、みやぎデフキッズクラブ、障がい者サポーターズGolazo!、尚綱学院大学

助成：一般財団法人地域創造

後援：NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、khb東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報S-style、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2MHz



[関連企画]

三ヶ尻敬悟プロ (contact Gonzo) による公開練習

出展作家コンタクトゴンゾとドットアーキテクトのメンバーが、プレーを通じて会場の楽しみ方を紹介しました。

日時：2023年1月11日 13:00-15:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：30名

入場料等：展覧会に同じ



日時：2023年1月21日 10:30-12:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：30名

入場料等：展覧会に同じ



いろいろキャディー大集合!!

キャディーとおしゃべりしながらコースをまわろう!!

自身の障害を開示して活動する人や、障害者の芸術活動支援センター@宮城(愛称：SOUP)のスタッフが、プレーの方法や楽しみ方を伝えるキャディーとして来場者を迎えました。

日時：2023年1月28日

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：6名(キャディー)

入場料等：展覧会に同じ

【コンペ】ジョウゼンジ杯 勝負の手がかりは音!? 見えない人・見えにくい人と一緒にプレーを楽しもう!!

目の見えない人と見える人が交流しながら一緒にプレーするイベントを行いました。

日時：2023年1月20日 10:30-12:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：34名

入場料等：展覧会に同じ



【コンペ】ジョウゼンジ杯 家族対抗!! パターゴルフ大会!!

家族ごとにチームを組んでプレーする家族対抗イベントを行いました。

日時：2023年1月29日 10:30-14:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：42名

入場料等：展覧会に同じ

【コンペ】ジョウゼンジ杯 サイレントなゴルフ場!? 手話や筆談でプレーを楽しもう!!

耳の聞こえない人と聞こえる人が、手話や筆談で対話し一緒にプレーするイベントを行いました。



1-2

せんだい・アート・ノード・プロジェクト

art node

「優れたアーティストのユニークな視点と仕事」と、地域の「人材、資源、課題」をつなぐアートプロジェクト。

アートノードでは、アーティストが仙台・東北をリサーチし、同時代性のある現代アート作品を制作、さまざまなプロジェクトを展開します。そして、調査、企画、制作、発表までの過程を人々と共有し、鑑賞にとどまらない活動への接点をつくることで、より多くの人に関わり、熱のある「アートの現場」を仙台につくりだしていきます。

1-2-1

川俣正／仙台インプログレス

フランスを拠点に国際的に活躍するアーティスト・川俣正が仙台市沿岸部で展開するプロジェクト。2022年度は、前年度制作した《新浜タワー》のお披露目を行うとともに、新たに仙台市宮城野区岡田・新浜地区に仮設の船橋《みんなの橋(テンポラリー)》を制作し、東日本大震災後11年5ヶ月ぶりに新浜地区の住人が歩いて貞山運河を渡る機会となりました。報告展では、貞山運河に架けた《みんなの橋(テンポラリー)》を実際に展示し、歩くことができるようにした他、これまでの活動などを映像や資料で紹介しました。

会期：通年

会場：仙台市沿岸部、1f エレベーターホール、7f ラウンジ

協力：新浜町内会、貞山運河倶楽部



[イベント]

新浜タワー お披露目

日時：2022年4月7日 9:30 -
10:00

会場：仙台市宮城野区岡田・新浜
地区

入場・参加者数：80名

入場料等：無料



**川俣正／仙台インプロGRESS
報告展**

会期：2023年3月29日-4月2日
10:00-18:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：4,162名(4月1日
-2日の2023年度分含む)

入場料等：無料



みんなの橋(テンポラリー)制作、

お披露目

会期：2022年8月3日-8月7日

会場：仙台市宮城野区岡田・新浜
地区

入場・参加者数：136名

入場料等：無料

[参加イベント]

**貞山運河の渡し舟と新浜フットパス
2022**

日時：2022年8月7日、10月16日

会場：仙台市宮城野区岡田・新浜
地区

主催：新浜町内会

協力：せんだいメディアテーク

新浜貞山運河小屋めぐり

日時：2022年5月14日、7月24日、
9月18日、11月19日、11月20日、
2023年3月12日

会場：仙台市宮城野区岡田・新浜
地区

主催：貞山運河倶楽部、となりの畑

協力：せんだいメディアテーク

藤浩志／ワケあり雑がみ部

不要物を利用した作品やシステムづくりで知られるアーティストの藤浩志によるプロジェクト。仙台市のごみ分別区分のひとつである「雑がみ」を収集・分類し、それらを素材に自由な造形活動を楽しみました。また、周辺商店街での七夕や、各種団体のイベントなどに協力しました。

会期：2022年5月13日、5月14日、6月10日、6月11日、7月8日、7月9日(全6回)

会場：7f スタジオb、オンライン

入場・参加者数：176名

入場料等：無料

協力：仙台市環境局

**[イベント]****レア雑がみ贈呈式**

1940年代からの貴重な包装紙全177点を、雑がみ部の藤部長から株式会社藤崎へ贈呈しました。

日時：2023年3月9日

会場：ワケあり雑がみ部部室

vol.1 Hiro Ito

会期：2022年7月28日-10月31日

vol.2 さとうちか

会期：2022年11月1日-2023年1月31日

vol.3 マーヤ

会期：2023年2月1日-6月12日

展示で雑がみ部

雑がみ部員がこれまでに制作した作品を、個展形式で紹介しました。

会場：1f 定禅寺通側



ARCADE

コロナ禍などの影響を受けている仙台市中心市街地において、文化面での交流を促進すべくARCADE(アーケード)と題し、アーティストと共に活動を行います。

[イベント]**NISHINARI YOSHIO 写真展 最後のファッション**

美術家・西尾美也と、西成区山王にある創造活動拠点「kioku 手芸館 たんす」に集まる高齢女性たちとの共同制作により2018年に誕生したファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」の展示を行いました。トークイベントでは、西尾氏とせんだいメディアテーク館長の鷲田清一がそれぞれの活動を振り返りながら、ファッションにおける問題意識や社会の変化について語り合いました。

会期：2022年12月19日-2023年1月15日

会場：仙台フォーラス7f even

入場・参加者数：3,221名

入場料等：無料

企画運営：一般社団法人 brk collective [ブレコ]

協賛：OF HOTEL

協力：仙台箆筒協同組合、仙台フォーラス、一番町一番街商店街振興組合

会場構成：NO ARCHITECTS





+

[イベント]

トークイベント「いのちの世話と最後の3着」

日時：2023年1月7日 14:00-15:30

会場：仙台フォーラス 7f BASE sendai パーク

入場・参加者数：45名

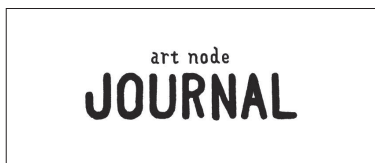
入場料等：無料

出演：西尾美也(美術家)、鷲田清一(せんだいメディアテーク館長)

+



1-2-4



JOURNAL

アートノード・プロジェクトについて広く伝えるとともに、地域の資源や課題と現代アートの関係を可視化・記録していく印刷物。

『アートノード・ジャーナル 10号』
「東北アートの循環系 そのサイズとペース。」と題して、東北各地の地域に根ざした4つのアートスペースやプロジェクトを、それぞれゆかりのある方々に紹介いただきました。
編集：甲斐賢治、田中千秋、丹治圭蔵、江刺陽名子(せんだいメディアテーク)
アートディレクション・デザイン：
homesickdesign

寄稿：佐々瞬、高田彩、永沢碧衣、小田原のどか(執筆順)
発行日：2023年3月31日
価格：無料



1-2-5



MEETING

参加アーティストの関心や取り組んでいる課題などを切り口としながら、その活動の理解を深めていくとともに、アートノードのプログラムの検証を参加者も交え探っていくための自由参加型公開会議。

アートノード・ミーティング10 貞山
運河フォーラム2023 創造する運
河3「貞山運河の今と未来～貞山
運河小屋めぐりから考える～」
「仙台インプログレス」では、貞山運
河倶楽部が開催する「貞山運河小
屋めぐり」に協力してきました。今
回はこれまでの「貞山運河小屋めぐ
り」を振り返り、今後の地域資源を
生かすアイデアについて話し合い
ました。
日時：2023年2月26日 13:30-
15:30
会場：7f スタジオa

入場・参加者数：54名
入場料等：無料
出演：貞山運河倶楽部、川俣正、佐々瞬、佐立り子、佐藤貴宏、建築
ダウンーズ、甲斐賢治
共催：貞山運河倶楽部
協力：となりの畑、NPO法人水・環
境ネット東北



1-3

館長発信事業

鷲田清一とともに考えるパート2

ドートクのじかん

3じかんめ「公平」

館長の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルからお話をうかがいながら、いま、メディアテークを通してみえる社会の課題について、みなさんと共有し、考えを深めていく対話の時間。今回は「公平」をテーマに、文化人類学者の松村圭一郎氏をお招きし、対話を重ねました。

日時：2022年7月30日 14:00-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：194名

入場料等：無料



1-4

ラジオ下神白

—あのとさあのまの音楽から

いまここへ—

記録映像と音源、トーク

『ラジオ下神白 ドキュメント映像』の上映に続けて、それを撮影・編集・監督した小森はるか氏、そして「ラジオ下神白」の企画者のアサダワタル氏とともに、プロジェクトのもうひとつの記録であり作品ともいえるCD『福島ソングスケイプ』からの音源を聴きながらお話をうかがいました。

日時：2022年7月31日 14:00-17:00

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：58名

入場料等：無料



1-5

青山真治監督特集 in 仙台 2023

青山監督の代表作『EUREKA ユリイカ』のほか、『赤ずきん』など貴重な35ミリフィルム作品の上映を行ったほか、上映後のトークでは、青山監督に縁のあるゲストが氏の足跡を多角的に語りました。また、図書館の蔵書による特集や、過去に当館のイベントに出演された記録(smtコレクション)に足を止める来場者も多くいました。

会期：2023年2月25日-2月26日

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：217名

入場料等：一般：1500円／学生証・障害者手帳等提示：1000円（ほか特別上映の料金設定あり）

共催：仙台短篇映画祭実行委員会

協力：フォーラム仙台、boid、WOWOW、読売テレビ、カルチュア・エンタテインメント、ブランディッシュ、カズモ、アテネフランセ文化センター、大橋咲歩、田村尚子



1-6

せんだいデザインリーグ 2023 卒業設計日本一決定戦

全国の建築を学ぶ学生たちの卒業設計作品が一堂に会し日本一を決めるイベント。21回目となる今年度は、4年ぶりに公開審査の会場に観覧者を入れての開催となり、白熱した議論が繰り広げられました。なお、メディアテーク改修工事に伴い、出展作品は仙台市中心部の仙台フォーラスの7階・8階を会場とし、初めての館外展示となりました。

会期：2023年3月5日-3月12日

会場：1f オープンスクエア、仙台フォーラス7f・8f、オンライン

主催：仙台建築都市学生会議

共催：せんだいメディアテーク

[審査員]塚本由晴(審査員長)、岩瀬諒子、藤野高志、サリー楓、川勝真一

[入賞作]日本一：土居亮太(明治大学)『建築家のパラドクス』—制御不能な野性の面影—、日本二：大岩樹生(法政大学)『都市の再生速度』—現代的鑑賞から考える東京駅の劇場—、日本三：奥田涼太郎(武蔵野美術大学)『海への「おくりもの」』





[イベント]

作品展示

会期：2023年3月5日-3月12日
10:00-20:00

会場：仙台フォーラス7f・8f

入場・参加者数：954名

入場料等：無料

公開審査

日時：2023年3月5日 11:30-

会場：1f オープンスクエア

(YouTubeで配信)

入場・参加者数：66名

入場料等：無料

1-7

ショートピース!仙台短篇映画祭 2022

仙台で上映される機会が少ない短篇映画をはじめ、自主制作作品、若手監督や宮城にゆかりある監督の作品を上映する映画祭を、実行委員会と共催で実施しました。ゲストトークも実施し、映像作品により親しみ理解を深める機会を市民へ提供しました。また、せんだい・宮城フィルムコミッションのロケ風景パネルを展示、在仙3高校の生徒の制作した映像を紹介しました。

会期：2022年6月25日-6月26日

会場：7f スタジオシアター

入場・参加者数：198名

入場料等：1プログラム券1,000円、65才以上・高校生以下・障害者手帳等で800円

主催：仙台短篇映画祭実行委員会

共催：せんだいメディアテーク

[上映プログラム]

高校生作品をスクリーンで!

MOOSIC LAB 新作プレビュー

映画×演劇『サマーフィルムにのって』

新しい波・宮崎大祐

映画の音の魅力を知る 岸野雄一の「聴く映画」

カメラマン ロビー・ミュラーの眼差し

[ゲスト]

大崎章、三浦直之、相田冬二、宮崎大祐、いがらしみきお、岸野雄一



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

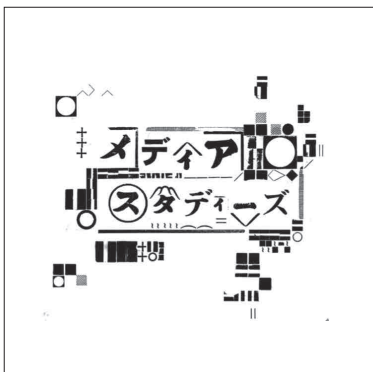
+

+

2

2-1

メディア・スタディーズ



メディアを活用して地域の文化をつくる、個人・グループによるさまざまなプロジェクト。

※2-1-1～2-1-6のイベントについては、一般財団法人地域創造の助成を受けて実施しました。

2-1-1



どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—

活動主体：NPO法人20世紀アーカイブ仙台

市民の方々から写真提供を受け、保存活動を行っています。しかし、せっかくの貴重な写真も場所や年代がわからなければ資料として活かすことができません。不明な写真を展示公開し、市民からの情報により確定するイベント「どこコレ?」を開催しています。

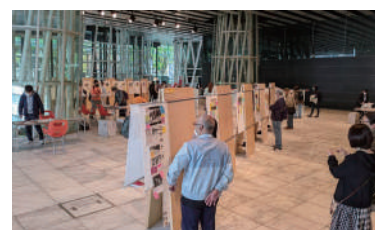
[イベント]

第11回「どこコレ?—おしえてください昭和のセンダイ—」

仙台的どこかではあるけれども詳細がわからない古い写真を展示し、みなさんからの情報をもとに調べました。

会期：2022年4月29日-5月8日（前期）、5月11日-6月26日（後期）
会場：1f オープンスクエア（前期）、7f スタジオa（後期）

入場・参加者数：12,373名
入場料等：無料



2-1-2



民話 声の図書室

活動主体：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム

「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた宮城県内を中心とする民話語りの映像・音声を、誰もが活かせる共有財産として後の世代に手渡していくため、民話語りのCD作成、語りの映像撮影とDVD作成、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを行っています。

[イベント]

2011.3.11 大津波に襲われた沿岸 集落で、かつて聞いた《いつたえ、 むかしばなし、はなし》その十 亘理郡山元町周辺の民話

「2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた《いつたえ、むかしばなし、はなし》」は、2011年3月11日の大津波で大きな被害をこうむった宮城県内の沿岸集落でかつて聞いた話を展示するシリーズ展です。今回は同シリーズの締めくくりとして、みやぎ民話の会が宮城県山元町周辺で聞いた民話を紹介しました。

会期：2022年7月1日-7月31日

会場：7f スタジオ a

入場・参加者数：2,261名

入場料等：無料



第九回 民話ゆうわ座

「伝承のみちすじをたどる」

9回目となる「民話ゆうわ座」は、300話余りの民話を語り継いだ稀有な語り手・故永浦誠喜さんと、その姪にあたる故伊藤正子さんが、源を同じくする民話を語り継ぎながらも、それぞれの暮らしや人柄や性別などを反映して、微妙に細部が異なりながら語り継いできたことを映像を通じて味わい、会場と意見交換を行いました。

日時：2022年12月11日 13:00-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：407名

入場料等：無料





みやぎシネマクラブ

活動主体：みやぎシネマクラブ

宮城県を主な拠点に、映像を通して作り手と市民が繋がり支え合うためのコミュニティ。作品を鑑賞しながら語り合う「映像サロン」等を開催しています。

【イベント】

第15回映像サロン「映像表現の可能性を考える～山田徹監督新作ラフカットから～」

3.11をきっかけに福島で映画制作をする山田徹監督は、出自である東京と福島を結ぶ「道」をテーマに新作を準備中です。映画は、監督が道中で出会う人々や風景を記録したロードムービーですが、まだ未完成です。今回の映像サロンでは、映画になる前の段階であるラフカットを上映し、参加者同士が映像について自由に語り合うディスカッションを行いました。監督自身も参加し、映画表現の可能性を探りました。

日時：2022年4月17日 13:30-16:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：18名

入場料等：無料



第16回映像サロン「ナチュラル・ヒストリー・フィルムズ～生きる術の記録と世界の測り方～」

震災後、生きる術の在りかを探るべく山里に拠点を移した作者(海子揮一)は映像を現代の博物学 Natural Historyと捉え、人々の地域へのまなざしを記録しています。その最新の2作品「けずりばな」「野点外伝2～じんじんと山和尚～」を上映し、参加者と語り合いました。

日時：2022年7月31日 13:30-16:30

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：32名

入場料等：無料



第17回映像サロン「表現の豊かで幸福なあり方を考える～劇団・烏丸ストロークロックの取り組みから～」

京都を中心に現代演劇を創作する劇団・烏丸(からすま)ストロークロックが、兵庫県豊岡市但東地域の子どもたちとともに創作した芝居神楽のワークショップ過程を記録した作品を通して、アートの可能性や

表現の豊かで幸福なあり方を参加者とともに考えました。

日時：2023年3月19日 13:30-16:30

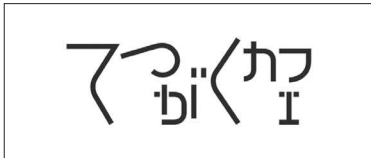
会場：7f スタジオb

入場・参加者数：17名

入場料等：無料



2-1-4

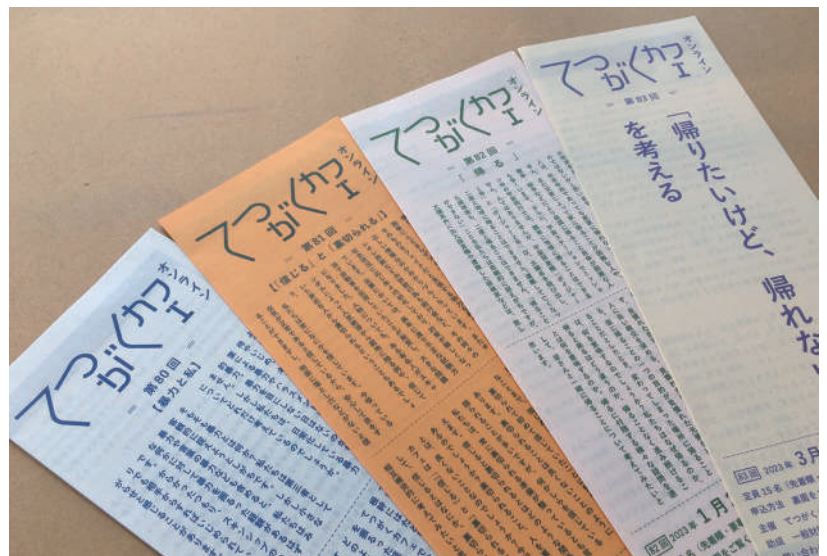


てつがくカフェ

活動主体：てつがくカフェ@せんだい

通常当たり前だと思っている事柄について「そもそもそれって何なのか」と問い直し、参加者同士で「対話」を重ねることで、考えることの難しさや楽しさを体験する企画「てつがくカフェ」を行っています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2022年度はすべてオンラインで開催しました。



第80回でつがくカフェ

テーマ：暴力と私

参加者自身のこれまでの体験を振り返ることから始まりました。その後、暴力の種類のカテゴリ、暴力に関する疑問が語られたり、自由な意見交換の時間が設けられて、そこからキーワードを抽出しました。その中で「意図、予見」や「作為、不作為」という視点で見え方が変わるという指摘があったり、一見暴力に見えることも、当事者間では別の感情が沸き起こっているという経験談などもあり、さまざまな気づきのある時間となりました。

日時：2022年8月11日 14:00 - 16:00

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：18名

入場料等：無料

第81回でつがくカフェ

テーマ：「信じる」と「裏切られる」

自由な意見交換からキーワードの抽出、定義づけまでの一連の意見交換を行いました。最終的には「信じる」について軸足を置き、ゆっくりと丁寧に対話を重ねて考えた回となりました。

日時：2022年10月22日 14:00 - 16:00

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：10名

入場料等：無料

第82回でつがくカフェ

テーマ：帰る

年末年始の帰省シーズンとコロナ。「帰る」ことにどんな意味があるのか。私たちは「帰らない」とどうなるのかを改めて考えてみました。

日時：2023年1月28日 14:00 - 16:00

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：20名

入場料等：無料

第83回でつがくカフェ

テーマ：帰りたいけど、帰れない

コロナにかかってしまい、帰りたいけど帰れない。原発事故の避難先の居心地が良く、帰りたい気持ちはあるけれどももはや帰れない。そのほか何か理由があって、案外身近にある「帰りたいけど帰れない」ということについて、考えました。

日時：2023年3月11日 14:00 - 16:00

会場：オンライン(zoom)

入場・参加者数：20名

入場料等：無料

2-1-5



知る 続く 在来作物プロジェクト

活動主体：みやぎ在来作物研究会

在来作物とは、その土地で世代を超えて長年栽培され、人々に親しまれてきた野菜、果樹、穀類などの作物です。種を取る方法は、昔ながらの農法とともに代々受け継がれ「生きた文化財」とも言われます。地元にある在来作物を知り、守ってきた人たちを知り、これからも大切に残していきたいという活動です。

[イベント]

いま再び、在来作物を考える

—実践編—

SDGsという言葉が徐々に浸透し、環境保護・保全や生物多様性などの大切さについて、今後のさらなる広がりが予想される昨今、改めて在来作物の役割を考えるためのセミナーを開催しました。今回のゲスト講師は、地ダイコンの研究者である佐々木寿氏(元東北大学非常勤講師)。前年度3月に実施した解説編に続き、実践編では宮城県大崎市の地ダイコンである小瀬菜大根など、具体例を交えて詳しくご紹介いただきました。

日時：2022年4月16日 10:30-12:00

会場：7f スタジオb

入場・参加者数：7名

入場料等：無料



里芋の食文化

～仙台芋煮と雑煮をめぐる～

東北民俗の会会長・佐藤敏悦氏をお迎えし、「里芋の食文化～仙台芋煮と雑煮をめぐる～」と題して、作物と食文化の関わりを紐解いてみました。県内の在来作物の「里芋」、仙台ならではの「芋煮」の文化、雑煮の文化との関わりまで、新たな気づきの多い機会になりました。

日時：2023年1月29日 10:30-12:00

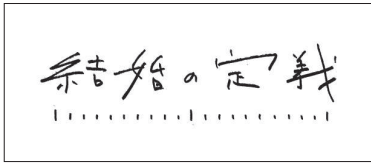
会場：7f スタジオb

入場・参加者数：16名

入場料等：無料



2-1-6



結婚の定義

活動主体：♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

「同性婚」「夫婦別姓」「婚活」「生涯未婚」…現代日本社会は「結婚」に関するキーワードであふれています。しかしその一方で「そもそも『結婚』って何?」という根本のところは置き去りにされがちです。法制度・文化・習俗など、さまざまな側面がある「結婚」。友人や恋人やきょうだいや、他のいろいろな関係と区別するズバリな「結婚の定義」はあるのか?それともそんなものはないのか?多面的な視点から考察していきます。

[イベント]

ミニ展示「結婚の定義」

シールアンケート&メッセージ募集

「結婚」にまつわるさまざまなキーワードについてシールアンケートを実施。あわせてプロジェクトテーマ「結婚の定義」に関するメッセージを募集しました。自由記述のアンケートへの回答も多く、また幅広い世代や立場の意見が集まりました。今後の展示やトークイベントなどに向けて、貴重な意見が集められました。

会期：2023年2月1日-2月28日

会場：1f オープンスクエア南側

入場・参加者数：370名

入場料等：無料



2-1-7



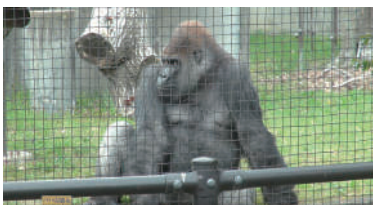
活版印刷工房

活動主体：活版印刷研究会

活版印刷の文化を保存し伝えるプロジェクト。毎月1回、メディアテークの活版印刷機や活字を用いた制作・周辺設備の保守活動をしています。活字や道具のメンテナンスの技術を職人さんから学び、継承することで活版文化を後世に残すとともに、日々の活動や展示、一般のかた向けのワークショップの開催などを通して、会の後継者の育成に取り組んでいます。

+

2-1-8



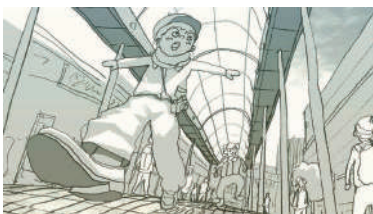
いきもの記録係

活動主体：いきもの記録係

いまを生きる命を、大切に記録する係／活動です。現在は貴重になっている日本の蚕と飼育している養蚕農家や、八木山動物公園に暮らすゴリラをはじめ、多種多様な生きる命を記録します。

+

2-1-9

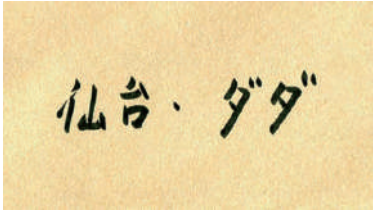


スローウォーク・センダイ

活動主体：スローウォーク・センダイ

通りを歩くとき、その一步を普段の何倍もの時間をかけると、きっと見える風景や聞こえてくる音が変わってくる。ゆっくり歩くことで、日常で見落としていた風景に気づく。それらをすくい上げ、記録し共有することで、通りや街の新たな魅力と、スローウォークという行為自体の意味を探求するプロジェクトです。

2-1-10



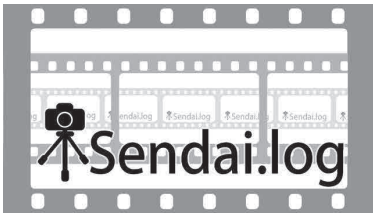
仙台前衛藝術の足跡を辿る

活動主体：仙台ダダ外部調査委員会

戦後まもなく、行為による表現活動を始めた糸井貫二氏を中心に、1960年代70年代から活動する仙台の美術家や関係者への聞き取りおよび映像メディアによる記録、資料調査を行い、いまだ知られざる仙台前衛藝術の動向と同時代の状況を考察するとともに、後世に残すためのドキュメントを作成します。

+

2-1-11



Sendai.log

活動主体：Sendai.log

仙台の町の変化を捉え、記録していくプロジェクトです。振り返るといつのまにか変わっている「今の町の姿」を記録し、アーカイブログを作成しています。

+

2-1-12

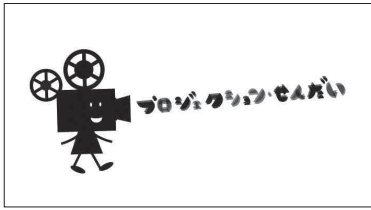


ユースてつがくカフェ てつこの部屋

活動主体：ユースてつがくカフェ てつこの部屋

普段、何気なく口にしたり耳にしたりしているけれど、それほどじっくり考えたことはない、なんだか気になることについて、いつもとは違う場所で、ゆっくりお茶を飲みながら話す企画です。

2-1-13



プロジェクション・セんだい

活動主体：プロジェクション・セんだい

仙台で70年にもわたり、映写技師として活躍している浅井浩雄氏のドキュメンタリーを制作するプロジェクト。今ではなかなか見ることができない映写や、浅井氏から語られる仙台や映画文化の記録を行います。

+

2-1-14



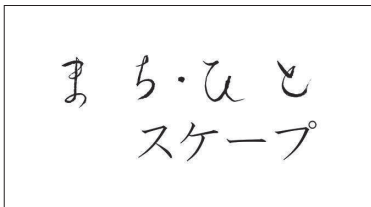
細倉を記録した寺崎英子の写真アーカイブ

活動主体：寺崎英子写真集刊行委員会

1941年、旧満州に生まれた寺崎英子氏は、家族とともに宮城県鶯沢町細倉という鉱山町に移り住み、家業の売店を生業にしてきました。鉱山の閉山が発表されると寺崎氏はカメラを手にし、その後の細倉の行方を撮影しました。このプロジェクトでは、撮影された約1万1千カットのネガをアーカイブし、写真集刊行を目指します。

+

2-1-15



まち・ひとスケープ

活動主体：まち・ひとスケープ

残したい・伝えたいさまざまな事柄を、動画やブログなどのメディアを通して発信。楽しみながら、学びあい・スキルを高めあう活動です。

2-1-16



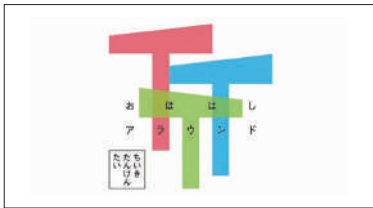
失われた村の風景を記憶しなおす

活動主体：「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト

2000年、日米軍事演習を契機に集団移転がなされた黒川郡大和町升沢地区。升沢の記録保存調査に参加していた手代木信成氏が撮影していた移転前後の村の人々や自然の風景の写真約3000枚をデジタル化し、各写真を軸に、撮影内容・背景・周辺エピソードなど、撮影者や関係者からの情報を立体的にまとめるプロジェクトです。

+

2-1-17



おほはしア라운드

活動主体：地域探検隊-TTT-

広瀬川大橋周辺をフィールドに、地域のエリアを広げる探検から、心の中にある地域を浮かび上がらせる探検、そして文化の壁・地域の内と外を乗り越える探検を行い、ガイドツアーやアートなどに活用するためのアーカイブ活動です。多層に積み重ねられた歴史と地域の生活文化を尊重するまちづくりとして取り組んでいます。

+

2-2

バリアフリー・デザイン

目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための事業や、障害の有無にかかわらず参加できる事業。

2-2-1

手ではなすおはなしの会

ボランティアグループ「まほうの手」による手話のおはなし会を実施しました。

会期：2022年6月19日、2023年2月19日

会場：7f 会議室 ab(6月19日)、7f スタジオ a(2月19日)

入場・参加者数：116名(6月19日：38名、2月19日：78名)

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館



2-2-2

ミニ手ではなすおはなしの会

仙台市民図書館が主催するイベント「にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば ボランティアによる連続おはなし会」に、手話による読み聞かせを行うグループ「まほうの手」が参加しました。

日時：2022年7月9日 16:10-16:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：14名

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館



2-2-3

定禅寺パターゴルフ???倶楽部!! 関連企画(再掲)

多様な人々が楽しんで参加できるよう、バリアフリー・デザインの観点からイベントの企画運営を行いました。



2-2-4

スープノアカデミア 2022

「ともに学びともに育つ! せんだい・まなびやネットワーク構築モデル事業」の一貫として、障害者の芸術活動支援センター@宮城(愛称: SOUP)が実施するプロジェクト「スープノアカデミア」。障害のある人の「まなび」の場を考えるワークショップや講座などのプログラムを実施しました。

会期: 通年

会場: 1f オープンスクエアほか

主催: 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

共催: 仙台市教育委員会、せんだいメディアテーク

2-2-5

共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック

ちがう、かかわる、かわる～障害のある人とない人がともに

障害のある人と芸術文化活動を行う団体や活動の紹介、展示等を行う「きいて、みて、して、見本市。」の中で、障害のある人の学びの場「スウプノアカデミア」の発表会等を開催。楽しみながら「障害」について学び、考える機会となりました。

会期：2023年2月12日 10:00-16:00

会場：7fスタジオシアターほか

入場・参加者数：482名

入場料等：無料

主催：文部科学省、特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

共催：仙台市教育委員会、せんだいメディアテーク

+

2-2-6

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

メディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料の紹介を行いました。

会期：2023年2月10日-2月12日 9:30-20:00(11日、12日は18:00まで)

会場：2fバリアフリーカウンター、3f市民図書館

入場料等：無料

共催：仙台市民図書館

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

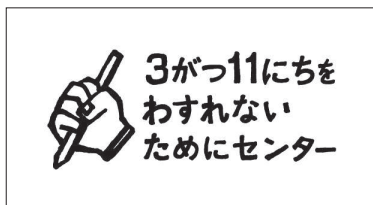
+

+

3

3-1

3がつ11にちをわすれないために センター



2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声・文章を、記録・発信し、利活用する事業。略称「わすれん!」。年間を通して、それぞれの参加者が記録活動および配信イベント等を行いました。それらの記録をもとにスタッフがDVD制作、ウェブサイトでの記録公開、「星空と路」での記録展示や上映会などを実施。また、メディアテークの改修工事にともなう臨時休館中(2022年8月-10月)、ウェブサイトで公開してきた記録を掘り起こしてツイッターで紹介する取り組み「わすれん!バックナンバーズ」も行いました。

3-1-1

星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—

会期：2023年3月8日-3月12日 10:00-18:00

会場：1f オープンスクエア、7f スタジオシアター

入場・参加者数：2,818名

入場料等：無料

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者の活動を紹介する展示、上映とトークを実施。参加者の活動から震災を振り返りました。



[イベント]

星空と路 上映会

日時：2023年3月12日 11:00-17:30

会場：7f スタジオシアター

[上映プログラム]

声なき声 Arahama Living History
車載映像 仙台市街地から沿岸部への往復90分の旅
鈍行旅日記

3-1-2

常設展示「わすれん!資料室」

2022年11月1日より、メディアテーク2階の映像音響ライブラリー内に常設展示エリアを開設し、わすれん!に寄せられたさまざまな記録資料を手にとれる形で公開しました。開設にともない、センターの概要や記録資料の利用方法をQ&A方式で紹介するリーフレット『3がつ11にちをわすれないためにセンターってなに?』を制作。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2020年2月より利用を休止していた「わすれん!録音小屋」を再開しました。



外部機関への主な協力出展等

記録を囲む場づくり

わすれん!参加者が記録した福島県の写真と地図を用いて、元地域住民が暮らす福島県いわき市の復興公営住宅・下神白団地にて「浪江町・双葉町のまちの写真を見る会」を実施しました。

日時：2022年11月17日

会場：下神白団地集会所(福島県いわき市)

「妄想国内旅行」での わすれん!特集上映

「妄想国内旅行」(主催：百万石まちなかめぐり実行委員会)にて、上映会「テント映画館 3がつ11にちをわすれない記憶の旅 わすれん!」(企画：明貫紘子／2021年度「ダイブわすれん!」参加者)が企画され、DVDの映像7本が上映されました。

会期：2022年11月5日-11月6日

会場：本多の森公園(石川県金沢市)

「仙台防災未来フォーラム2023」ブース出展

来場者参加型企画「3月12日はじまりのごはん」のパネル展示、および資料カタログとリーフレットの配布を行いました。

日時：2023年3月4日

会場：仙台国際センター展示棟

3-2

コミュニティ・アーカイブ・ ラボラトリー



地域や関心・属性などさまざまなコミュニティについて、そこに関わる人々が中心となり記録・収集する取り組みを「コミュニティ・アーカイブ」と呼び、その意味や可能性について探る仮想の研究室。

開設した2021年度に続き、日本各地のコミュニティ・アーカイブにまつわる取り組みを現地取材したレポートを公開したほか、2017年に実施した「草アーカイブ会議2」の映像や、関連書籍の書評などをウェブサイトで公開しました。



3-3

地域資料の収集

仙台にまつわる映像や写真などの収集・整理やデジタル化を進めました。また、その活用として、仙台市広報課がかつてフィルムで撮影していた写真をデジタル化したものから、8月5日～8月8日の「仙台七夕まつり」の期間中に1f オープンスクエアにて紹介するなどしました。

(収集・デジタル化した主な資料)

- ・1960～1990年代ごろに仙台市広報課が撮影した写真
- ・写真『仙台コレクション』
- ・映画『1978年 宮城県沖地震の記録』
- ・映画『観光の仙台』
- ・映画『(仮)戦後間もない秋保温泉ほか』



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+

4

4-1

第18回市民メディア全国交流集会

メディフェスせんだい2023

～伝わらない、伝える、伝わる。

全国の市民メディアや多様な情報発信の担い手が集まり、トークセッションや展示、上映会を行いました。

会期：2023年3月18日-3月19日

会場：1f オープンスクエア、7f スタジオシアター

入場・参加者数：386名

入場料等：無料

主催：メディフェスせんだい2023実行委員会

共催：せんだいメディアテーク



4-2

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

メディアテークが事務局を担当している、仙台・宮城地域の多様なミュージアムが連携する組織「仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)」。

当館を会場にSMMA参加館が集合し、各館の特色を生かした企画でミュージアムの楽しさを伝えるイベント「ミュージアムユニバース」を開催しました。また、仙台市や宮城県内のミュージアムや街の魅力を紹介する3カ国語(日・英・繁)のガイドブック『見験楽学散歩-Sendai Museum Guide』を発行しました。

[イベント]

ミュージアムユニバース2022

日時：2022年12月3日 10:00-16:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：150名(体験プログラム・参加館紹介コーナー)

入場料等：無料

主催：仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)



4-3

定禅寺通に面した施設として、ストリートと一体化したスペースにもなる1階オープンスクエアを活用し、屋外で行われるさまざまなイベントと連携する事業。

定禅寺通イベント共催事業等

4-3-1

とっておきの音楽祭2022

6月に定禅寺通を中心に開催されるお祭り「とっておきの音楽祭」。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指します。合言葉は「みんなちがって みんないい」。

主催：NPO 法人とっておきの音楽祭 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
共催：せんだいメディアテーク

[イベント]

とっておきの音楽祭2022

スペシャルライブ

音楽祭のプレ企画としてスペシャルライブと参加者ミーティングを開催しました。

日時：2022年4月17日 13:00-14:00

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：150名(内訳：ミーティング参加者100名、ライブ観客50名)

入場料等：無料



とっておきの音楽祭2022

(せんだいメディアテーク会場)

音楽祭当日は、メディアテークをはじめ、市内の各会場に音楽が響きました。

日時：2022年6月5日 10:00-17:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：1,083名

入場料等：無料



4-3-2

仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)

「仙台・青葉まつり」の歴史にまつわるパネル展示と、市民広場でのすずめ踊りの様子を映像配信でお届けしました。

会期：2022年5月14日-5月15日

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：1,229名

入場料等：無料

主催：仙台・青葉まつり協賛会

共催：せんだいメディアテーク



4-4

仙台市民図書館と連携して行うさまざまな取り組み。

仙台市民図書館との取り組み

4-4-1

仙台市民図書館 開館60周年記念講演

若竹千佐子氏講演会 ～今、届けたい言葉～

仙台市民図書館開館60周年記念講演会を共催し、手話通訳・要約筆記サービスを行いました。

日時：2022年7月23日 14:00-15:30

会場：1f オープンスクエア

入場・参加者数：165名

入場料等：無料

主催：仙台市民図書館

共催：せんだいメディアテーク

+

4-4-2

としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示(再掲)

メディアテークと仙台市民図書館が持っているバリアフリー資料の紹介を行いました。

+

4-5

学校との取り組み

仙台市教育センター「中学校美術科 ICT教材の試行活用について」において、映像を使った表現に関する授業研究に参画しました(東仙台中学校 第2学年「個性強めな東仙台を紹介します!」、仙台第一中学校 第3学年「場所やモノが語る一中の思い出」)。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っている学校等の見学受け入れは縮小、博物館実習の受け入れは中止しています。

学校見学：40校

博物館実習：受け入れなし

+

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+

5

5-1

開館20周年記念出版

『つくる〈公共〉50のコンセプト』

開館20周年を記念した書籍を発行しました。開館から東日本大震災を経て現在にいたる運営のなかで浮かび上がってきた、わたしたちの社会や公共について考えるためのキーワードを、市民活動の実践者、アーティスト、研究者など50人が読み解き、50のコンセプトにまとめた一冊です。

執筆者：会田大也、家成俊勝、五十嵐太郎、宇野重規、大澤聡、長内綾子、小野和子、香川檀、桂英史、門林岳史、栗原彬、栗原康、小岩勉、小森はるか、貞包英之、佐藤知久、佐藤泰美、佐藤正実、志賀理江子、柴崎由美子、清水チナツ、砂連尾理、菅原睦子、瀬尾夏美、高森順子、高熊洋平、高嶺格、伊達伸明、田中みゆき、辻明典、角田真由美、豊嶋純一、豊嶋秀樹、西川勝、西村高宏、西村佳哲、野家啓一、畠山直哉、濱口竜介、藤原辰史、前野久美子、松村圭一郎、松本篤、本江正茂、桃生和成、森田秀之、八木まどか、山田創平、吉岡洋、鷺田清一（五十音順）

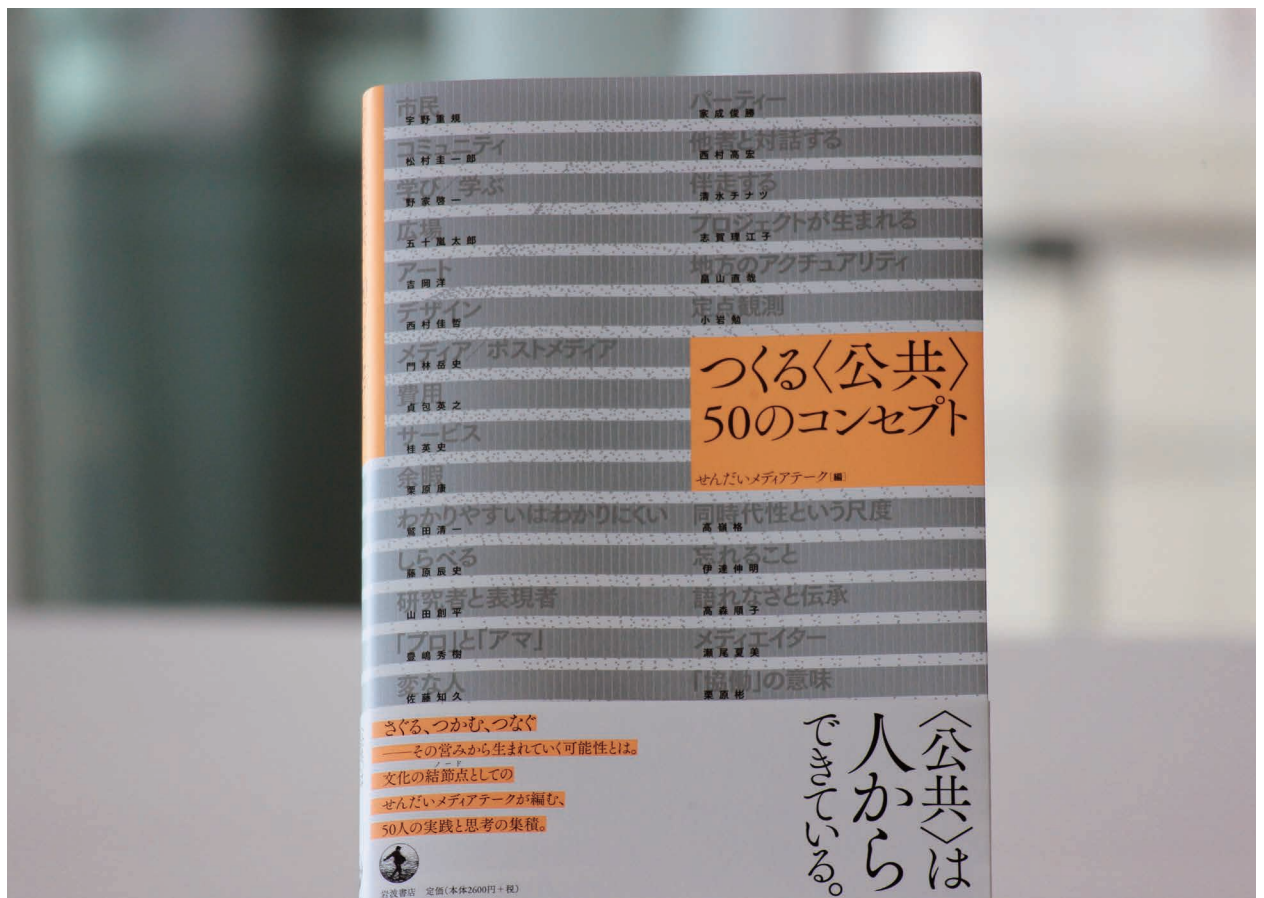
企画・編集：せんだいメディアテーク

編集協力：櫻井拓(のほ本)

発行日：2023年2月16日

発行：岩波書店

価格：2600円(税別)



5-2

せんだいメディアテーク クロノロジー 2001-2021

メディアテークの建設期から現在までのさまざま出来事や取り組みを、クロノロジー（年表）として展示。今年度は2022年度までの年表を追加しました。

※2020年度から継続

会期：2022年4月1日-2023年3月22日 9:00-20:00

会場：7f ラウンジ

入場・参加者数：93,204名

入場料等：無料



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+

6

6-1

映像音響ライブラリー

資料点数 15,914 点
貸出点数 45,426 点
新規登録者数 511 名

+

6-2

視聴覚障害者情報ライブラリー (バリアフリー・ライブラリー)

資料点数 5,203 点
貸出点数 2,769 件
対面朗読件数 163 件
音訳・点訳件数 6 件
音声読み上げパソコン利用件数 0 件
音訳制作件数 19タイトル
(DAISY 資料13タイトル、メディアテーク資料[情報誌等]6タイトル)
点訳制作件数 26タイトル
(視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録20タイトル、メディアテーク資料
[情報誌等]6タイトル)

+

6-3

インターネットを通じた資料提供

2020年度から開設しているYouTubeチャンネル「せんだいメディアテーク・オンライン」にて、事業の記録などを公開したほか、当館ウェブサイト上で画像資料を閲覧できるページを新たにし、収集した写真を公開しました。

せんだいメディアテーク・オンライン

<https://www.youtube.com/@user-yg1jg7xk5t/>

せんだいメディアテーク公式ウェブサイト内「アーカイブ>>画像」

<https://www.smt.jp/archive/photo/>



1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+

7

7-1

書籍や報告書等の印刷物

『つくる〈公共〉50のコンセプト』(書籍)

『アートノード・ジャーナル 10号』(タブロイド誌)

+

7-2

DVDメディア等の映像音響資料

主催・共催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」や「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」の活動を通じて制作された映像などをDVD・CDパッケージにし、「smtコレクション」として発行。映像音響ライブラリーで公開したほか、ライブラリー利用登録者にとどまらず、内外の報道、研究、上映会等のために貸し出しました。

+

主催・共催事業の記録

[DVD] 鷺田清一とともに考えるパート2 ドートクのじかん 3じかんめ「公平」

[DVD] せんだいメディアテーク開館20周年展 ナラティブの修復

[DVD] せんだいメディアテーク開館20周年展 ナラティブの修復(手話通訳版)

[DVD] 民話ゆうわ座9 伝承のみちすじをたどるー永浦誠喜さん、伊藤正子さんの語りからー

地域文化デジタル事業制作物

- [DVD]民話 声の図書室 伊具郡丸森町の鈴木悦郎の語り[3]
- [DVD]民話 声の図書室 伊具郡丸森町の鈴木悦郎の語り[4]
- [CD]民話 声の図書室 志田郡松山町の只野とよの語り[1]
- [CD]民話 声の図書室 志田郡松山町の只野とよの語り[2]
- [CD]民話 声の図書室 志田郡松山町の只野とよの語り[3]
- [CD]民話 声の図書室 志田郡松山町の只野とよの語り[4]

3がつ11にちをわすれないためにセンター制作物

- [DVD]中野伝承プロジェクト なかの伝承の丘保存会活動編
- [DVD]参佰拾壹歩の道奥経 個的吊いの儀
- [DVD]わすれん!ストーリーズ(1)
- [DVD]わすれん!ストーリーズ(2)
- [DVD]わすれん!ストーリーズ(3)
- [DVD]わすれん!ストーリーズ(4)

せんだい・アート・ノード・プロジェクトの記録

- [DVD]インタビューズーズー 第1回 コロナ禍のまちで声を聞きたい!
- [DVD]インタビューズーズー 第2回 コロナ禍でも場をひらく
- [DVD]インタビューズーズー 第3回 響きつづける音楽
- [DVD]インタビューズーズー 第4回 メキシコの2020年を聞く
- [DVD]TALK アーティストの自立と社会参加 ～“ふくし”から考える～
- [DVD]インタビューズーズー 第5回 ざわめきに耳をすます
- [DVD]インタビューズーズー 第6回 まちはどう変わった?
- [DVD]TALK 山小屋から見えてくる自然・建築・人間
- [DVD]TALK 書き手と読み手をつなぐ、紙のちから
- [DVD]インタビューズーズー 第7回 まちの記録を残す、活かす
- [DVD]インタビューズーズー 第8回 聞くこと、送ること
- [DVD]TALK 私とあなたの間をとりもつもの話～メディアム(媒介)としての木版画と人形劇～
- [DVD]インタビューズーズー 第9回 みんなの酒場のいま
- [DVD]TALK タフに在りつづける“たまり場”とは
- [DVD]TALK 過去を視る 過去を想う
- [DVD]TALK エンゲキは人をどう育むか 第一部
- [DVD]TALK エンゲキは人をどう育むか 第二部
- [DVD]TALK 中動態の映像学がはじまるまで
- [DVD]インタビューズーズー 第10回 ここでうたがうまれる 等

7-3

紙やインターネットを通じた
定期発行等

「催し案内」(印刷物／毎月／PDF版をウェブサイトで公開)

「けやき通り通信」(印刷物／隔月)

「教材ライブラリーだより」(印刷物／毎月／PDF版をウェブサイトで公開)

「せんだいメディアテーク・メールニュース」(メール配信／毎月／登録者
2,413名)

「せんだいメディアテーク・オンライン」(映像／毎月／ウェブサイトに公開)
ウェブサイト(アクセス総数968,972件)

+

7-4

その他常備している印刷物

総合案内(日本語版／英語版／フランス語版／中国語版／韓国語版)

総合案内(目や耳の不自由なかたへ)

総合案内(車椅子アクセス)

貸出施設利用案内

せんだいメディアテーク建築ガイド(日本語版／英語版)

+

1	文化・芸術への取り組み
2	協働と支援
3	コミュニティ・アーカイブ
4	さまざまな連携
5	開館20周年の取り組み
6	ライブラリー・サービス
7	本・DVD等の発行物
8	イベント一覧(時系列)
9	施設運営

+

+

8

2022年度イベント一覧(時系列)

4/1	展覧会	せんだいメディアテーク クロノロジー 2001-2021	
4/7	その他	[アート・ノード]川俣正/仙台インプログレス 新浜タワー お披露目会	
4/16	ワークショップ	知る 続く 在来作物プロジェクト いま再び、在来作物を考えるー実践編ー	
4/17	上演	とっておきの音楽祭2022 スペシャルライブ	
4/17	ワークショップ	みやぎシネマクラドル 第15回映像サロン 「映像表現の可能性を考える～山田徹監督新作ラフカットから～」	
+	4/29	展覧会	どこコレ?ーおしえてください昭和のセンダイー
5/13	ワークショップ	[アート・ノード]ワケあり雑がみ部	
5/14	展覧会、その他	仙台・青葉まつり「お祭り広場」(せんだいメディアテーク会場)	
6/5	上演	とっておきの音楽祭2022(せんだいメディアテーク会場)	
6/19	ワークショップ	手ではなすおはなしの会	
6/25	上映	ショートピース!仙台短篇映画祭2022	
7/1	展覧会	2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた 《いつたえ、むかしばなし、はなし》その十 亘理郡山元町周辺の民話	
+	7/9	ワークショップ	ミニ 手ではなすおはなしの会
7/16	上演	【中止】定禅寺ストリートジャズフェスティバル in SENDAI 交流ライブ	
7/23	トーク	仙台市民図書館開館60周年記念講演 若竹千佐子氏講演会 ～今、届けたい言葉～	
7/30	トーク	鷺田清ーとともに考えるパート2 ドートクのじかん 3じかんめ「公平」/松村圭一郎	
7/31	ワークショップ	みやぎシネマクラドル 第16回映像サロン 「ナチュラル・ヒストリー・フィルムズ～生きる術の記録と世界の測り方～」	
7/31	上映、トーク	ラジオ下神白ーあのときあのまちの音楽からいまここへー 記録映像と音源、トーク	
8/3	ワークショップ	[アート・ノード]川俣正/仙台インプログレス みんなの橋(テンポラリー)制作、お披露目	

8/5	展覧会	仙台七夕まつり関連アーカイブ写真演出
8/11	ワークショップ	考えるテーブル てつがくカフェ (オンライン)#80 暴力と私
10/22	ワークショップ	考えるテーブル てつがくカフェ (オンライン)#81「信じる」と「裏切られる」
12/3	展覧会、ワークショップ	SMMA ミュージアムユニバース2022 すてき ふしぎ おもしろい
12/11	トーク	民話ゆうわ座—話に遊び 輪を結び 座に集う— 第九回「伝承のみちすじをたどる」
12/19	展覧会	[アート・ノード]NISHINARI YOSHIO 写真展 最後のファッション
1/7	トーク	[アート・ノード]NISHINARI YOSHIO 写真展 最後のファッション トークイベント「いのちの世話と最後の3着」/西尾美也×鷺田清一
1/11	展覧会、ワークショップ	contact Gonzo×dot architects 定禅寺パターゴルフ???倶楽部!! ～協働と狂騒のダブルボギー (2打オーバー)
1/11	ワークショップ	「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展関連イベント 三ヶ尻敬悟プロ (contact Gonzo)らによる公開練習
1/20	ワークショップ	「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展関連イベント【コンペ】ジョウゼンジ杯 勝負の手がかりは音!? 見えない人・見えにくい人と一緒にプレーを楽しもう!!
1/21	ワークショップ	「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展関連イベント【コンペ】ジョウゼンジ杯 サイレントなゴルフ場!? 手話や筆談でプレーを楽しもう!!
1/28	ワークショップ	考えるテーブル てつがくカフェ (オンライン)#82 帰る
1/28	ワークショップ	「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展関連イベント いろいろキャディー大集合!! キャディーとおしゃべりしながらコースをまわろう!!
1/29	ワークショップ	「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」展関連イベント【コンペ】ジョウゼンジ杯 家族対抗!! パターゴルフ大会!!
1/29	トーク	知る 続く 在来作物プロジェクト 里芋の食文化～仙台芋煮と雑煮をめぐって～
2/1	展覧会、ワークショップ	【ミニ展示】「結婚の定義」シールアンケート&メッセージ募集
2/12	ワークショップ、トーク	共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック
2/19	ワークショップ	手ではなすおはなしの会

2/25	上映、トーク	青山真治監督特集 in 仙台 2023
2/26	トーク	[アートノード]アートノード・ミーティング10 貞山運河フォーラム2023 創造する運河3 「貞山運河の今と未来～貞山運河小屋めぐりから考える～」
3/5	展覧会	せんだいデザインリーグ2023卒業設計日本一決定戦
3/8	展覧会、上映、トーク	[わすれん!]星空と路 —3がつ11にちをわすれないために—
3/11	ワークショップ	考えるテーブル てつがくカフェ (オンライン)#83「帰りたいけど、帰れない」を考える
3/12	上映	[わすれん!]星空と路 上映会
3/18	展覧会、上映、トーク	メディフェスせんだい2023 ～ 伝わらない、伝える、伝わる。
3/19	ワークショップ	みやぎシネマクラドル 第17回映像サロン 「表現の豊かで幸福なあり方を考える～劇団・烏丸ストロークロックの取り組みから～」
3/29	展覧会	[アート・ノード]川俣正／仙台インプログレス 報告展

+

+

1 文化・芸術への取り組み

2 協働と支援

3 コミュニティ・アーカイブ

4 さまざまな連携

5 開館20周年の取り組み

6 ライブラリー・サービス

7 本・DVD等の発行物

8 イベント一覧(時系列)

9 施設運営

+

+

9

9-1 施設概要

所在地：仙台市青葉区春日町2番1号

敷地面積：3,949㎡

構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建

延床面積：21,682㎡

総工費：約130億円

設計：株式会社伊東豊雄建築設計事務所

・開館時間

せんだいメディアテーク：9時から22時まで(階により異なる)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：9時30分から20時まで
(土曜・日曜・休日は18時まで)

・休館日

せんだいメディアテーク：保守点検日(1月から11月までの第4木曜日)、年末年始(12月29日から1月3日)

仙台市民図書館・映像音響ライブラリー：月曜(休日を除く)、休日の翌日、保守点検日(1月から11月までの第4木曜日、ただし休日に当たるときは開館しその翌日が休館)、年末年始(12月28日から1月4日)、特別整理期間

・お問い合わせ

Tel: 022-713-3171 Fax: 022-713-4482

Web: www.smt.jp/

E-mail: office@smt.city.sendai.jp

企画・活動支援室 Tel: 022-713-4483

映像音響ライブラリー Tel: 022-713-4486

バリアフリー Tel: 022-713-4484

・主な施設内容

地下2階 書庫、収蔵庫、機械室

地下1階 駐車場、書庫

1階プラザ(定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ)

2階ライブラリー(映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧、目や耳の不自由な方の相談カウンター)

3・4階ライブラリー(仙台市民図書館)

5階ギャラリー 3300(固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間)

6階ギャラリー 4200(可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間)

7階スタジオ(施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ)

・組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課

指定管理者 公益財団法人仙台市民文化事業団(図書館は仙台市直営)

館長：鷲田清一

副館長：高橋泰

アーティスティック・ディレクター：甲斐賢治

管理課長

総務係長…総務係5名(係長含)

施設マネジメント係長…施設マネジメント係8名(係長含)

情報資料係長…情報資料係10名(係長含)

企画・活動支援室長

企画事業係長…企画事業係8名(係長含)

活動支援係長…活動支援係9名(係長含)

(45名 令和4年[2022年]10月時点)

9-2 沿革

平成元年(1989年)宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。

平成4年(1992年)定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。

平成6年(1994年)市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。

平成7年(1995年)設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。

平成9年(1997年)12月着工。

平成12年(2000年)8月竣工。

平成13年(2001年)1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理(図書館は仙台市直営)。

グッドデザイン大賞受賞。

平成16年(2004年)仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。

平成19年(2007年)業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。

平成20年(2008年)館内フロアレイアウトを一部変更。

平成23年(2011年)開館10周年。地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。

5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

平成25年(2013年)館長に鷺田清一(哲学者)が就任。

令和3年(2021年)開館20周年。

令和4年(2022年)照明設備等の改修工事を実施。

9-3 収支

令和4年度

(1)収入の部

指定管理料 582,250千円

事業収入(企画事業、受託事業を含む) 56,743千円

《内訳》

・補助金 33,031千円

・各種助成金 7,000千円

・入場料等 314千円

・受託事業収入 14,606千円

・仙台市市民文化事業団自主財源 1,792千円

・負担金収入 0千円

(2)支出の部

管理運営費(施設の維持管理、情報サービス事業を含む)

..... 582,250千円

事業費(企画事業、受託事業を含む) 56,743千円

9-5 その他

(1)臨時休館

照明設備等の改修工事により、2022年8月9日から10月31日まで臨時休館しました。

(2)中止または次年度に延期となった事業等

下記事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止となりました。

・定禅寺ストリートジャズフェスティバル in SENDAI 交流ライブ(2022年7月16日-7月18日)

9-6 仙台市メディアテーク条例

次ページ以降に掲載。

9-4 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日(週)数/開館日(週)数	日(週)数ベース利用率	利用者数
5階ギャラリー	週	15 / 17	88.2%	27,230
6階ギャラリー	週	12 / 17	70.6%	18,320
オープンスクエア	日	139 / 206	67.5%	31,724
スタジオシアター	1日3区分	85 / 190	44.7%	6,370
2階会議室	1日3区分	180 / 246	73.2%	1,747
7階会議室	1日3区分	181 / 199	91.0%	2,883
プラザ控室 a	1日3区分	124 / 219	56.6%	252
プラザ控室 b	1日3区分	127 / 219	58.0%	743
託児室	1日3区分	15 / 200	7.5%	19

使用料等徴収額 8,243千円

*5 / 6階ギャラリーは週数ベース

*2022年度は照明等改修工事のため使用できない日(週)は含まれておりません。

(設置)

第一条 様々な記録媒体(以下「メディア」という。)による情報を収集し、保管し、及び提供して、市民の自主的な情報の検索、閲覧、記録、発信等の活動を支援するとともに、美術・映像文化の創造又は普及の場を提供し、もって市民の生涯学習の振興に資するため、メディアテークを設置する。

(名称及び位置)

第二条 メディアテークの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
せんだいメディアテーク	仙台市青葉区春日町二番一号

(事業)

第三条 メディアテークは、次に掲げる事業を行う。

- 一 メディアを活用した生涯学習及び文化活動に係る情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発に関すること
- 二 美術・映像に係る情報・資料の収集及び提供に関すること
- 三 美術・映像に係る展覧会、講習会その他の催しに関すること
- 四 美術・映像に係る作品の展示又は上映のために施設を提供すること
- 五 視聴覚障害者の情報活動支援に関すること
- 六 その他第一条の目的を達成するために必要と認められる事業

(使用の許可)

第四条 別表に掲げるメディアテークの施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 メディアテークの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不相当と認めるとき

(使用料)

第五条 メディアテークの使用料は、別表に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

3 前項の規定にかかわらず、駐車場の使用料は、出庫の際、納入しなければならない。

(平一五、七・改正)

(使用料の額の特例)

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。)は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりメディアテークの施設を使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内にメディアテークの施設の使用の取りやめを申し出たとき

(平一五、七・追加)

(使用料の返還)

第六条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(平一五、七・改正)

(使用料の減免)

第七条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第八条 使用者は、許可を受けた目的以外にメディアテークを使用してはならない。

(平一五、七・改正)

(使用権の譲渡等の禁止)

第九条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第十条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又はメディアテークの使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号のいずれかに該当することとなったとき

(指定管理者)

第十一条 教育委員会は、メディアテークの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にメディアテークの管理を行わせることができる。

(平一六、三・全改)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十二条 前条の規定により指定管理者にメディアテークの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

一 第四条第一項の許可に関する業務

二 第三条各号に掲げる事業の企画及び実施に関する業務

三 メディアテークの維持管理に関する業務

四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第四条及び第十条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平一六、三・追加)

(指定管理者が行う管理の基準)

第十三条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にメディアテークの管理を行わなければならない。

(平一六、三・追加)

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

(平一六、三・旧第十二条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例の施行期日は、市長が定める。

(平成一二年九月規則第一〇二号で、附則第二項の規定は平成一二年一〇月一日から施行)

(平成一二年一二月規則第一二六号で、平成一三年一月二六日から施行)

(仙台市視聴覚教材センター条例の廃止)

2 仙台市視聴覚教材センター条例(昭和四十七年仙台市条例第二十六号)は、廃止する。

附 則(平一五、七・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平一六、三・改正)

この条例は、平成十六年四月一日から施行する。

附 則(平二八、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成二十八年十月一日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則(平三一、三・改正)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)

2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。

3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表(第四条、第五条関係)

(平一六、三・平二八、三・平三一、三・改正)

一 各室の使用料

イ ギャラリー

使用区分	金額(一日につき)
五階ギャラリーa	二八、五〇〇円
五階ギャラリーb	二八、五〇〇円
五階ギャラリーc	二八、五〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcの隣接する二室を同時に使用する場合	五二、九〇〇円
五階ギャラリーa、五階ギャラリーb及び五階ギャラリーcを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
六階ギャラリーa	三九、七〇〇円
六階ギャラリーb	三九、七〇〇円
六階ギャラリーa及び六階ギャラリーbを同時に使用する場合	七三、三〇〇円
備考	
一	一、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合(第四号に規定する場合を除く。)の使用料は、この表に定める額の二倍とする。
二	「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもって入場料の額とする。
三	五階ギャラリーa、五階ギャラリーb又は五階ギャラリーcのいずれか一室を二分して使用する場合の使用料は、この表に定める

額の二分の一とする。

四 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

六 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第一号又は第四号に規定する場合にあっては、当該各号の規定により定める額)の二分の一とする。

ロ プラザ

使用区分		金額(一日につき)
プラザ	入場料を徴収しない場合	六一、一〇〇円
	入場料を徴収する場合	一二二、二〇〇円

備考

一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいう。

二 物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、この表に定める額の三倍とする。

三 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

四 準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第二号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。

ハ スタジオシアター及びその他の施設

使用区分		使用時間	午前(午前九時～ 正午)	午後(午後一時～ 午後五時)	夜間(午後六時～ 午後九時三十分)
スタジオ シアター	入場料を徴収しない場合		五、五〇〇円	七、三〇〇円	九、一〇〇円
	二、〇〇〇円以下の入場料 を徴収する場合		一一、〇〇〇円	一四、六〇〇円	一八、三〇〇円
	二、〇〇〇円を超える入場料 を徴収する場合		一六、五〇〇円	二二、〇〇〇円	二七、五〇〇円
プラザ控室 a			二二〇円	三〇〇円	三〇〇円
プラザ控室 b			三〇〇円	四〇〇円	四〇〇円
二階会議室			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
七階会議室 a			一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円

七階会議室 b	一、五〇〇円	二、〇〇〇円	二、五〇〇円
託児室	六一〇円	八一〇円	一、〇〇〇円

備考

- 一 「入場料」とは、入場料、会費その他名称のいかんを問わず入場者が主催者に支払う料金をいい、入場料の額に段階がある場合は、最高の入場料の額をもってこの表の入場料の額とする。
- 二 次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。
 - イ 午前九時から午後五時まで 午前の欄及び午後の欄に掲げる額の合計額
 - ロ 午後一時から午後九時三十分まで 午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
 - ハ 午前九時から午後九時三十分まで 午前の欄、午後の欄及び夜間の欄に掲げる額の合計額
- 三 この表に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前九時以前又は正午から午後一時までのときは午前の欄に、午後五時から午後六時までのときは午後の欄に、午後九時三十分以降のときは夜間の欄にそれぞれ掲げる額を時間割りして計算した額(百円未満の端数が生じたときは、これを百円に切り上げる。)とする。この場合において、その使用に係る時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 スタジオシアターを物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合の使用料は、二、〇〇〇円を超える入場料を徴収する場合の額とする。
- 五 スタジオシアター以外の施設を物品若しくは権利の販売若しくは有償サービスの提供又はこれらのための宣伝行為その他の営利の目的に使用する場合(ギャラリー、プラザ又はスタジオシアターの使用を伴わない場合に限る。)の使用料は、この表に定める額の三倍とする。
- 六 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 七 スタジオシアターを準備に使用する場合の使用料は、この表に定める額(第四号に規定する場合にあっては、同号の規定により定める額)の二分の一とする。

二 駐車場の使用料

一台につき、駐車時間一時間当たり三百円を超えない範囲内で教育委員会が定める額